



オズール社製品紹介

.ICEROSSでのトラブルシューティング



カーブマスター

禁忌

ICEROSSのロールオン装着ができない。しない。
日ごろの手入れができない。しない。断端の形状や、癬痕が特異で、ICEROSSと断端間の空気を取り除き得ない。

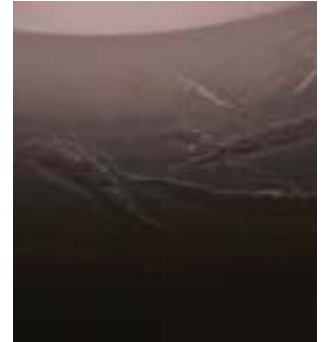
近位のトラブル

ICEROSSトリミング付近の水ぶくれ、かぶれ

原因：

不適切なICEROSSのトリミングによる剪断力の集中。

カーブマスターを用い、波型にトリミング処理をし、剪断力を分散する。皮膚が特に過敏な方には、ワセリンをトリミング付近に5mm程度の幅で塗布する。



遠位のトラブル

断端末の変色、水ぶくれ。ICEROSS遠位部のクラック

原因：

ライナーと断端の間に空気だまりが存在する。
小さすぎるICEROSSを選択している。
装着時に正しくロールオンしていない。
採型時にエロングーションをしていない。

サイズの確認及び適性サイズのICEROSSへの交換。
ディスタルカップやICEROSSパッドを用い、ICEROSSと断端の間の空気を排除する。ロールオン装着の指導。
採型方法の見なおし、ソックスの装着。



写真は大腿部。肌の弱い方の場合、下腿部でも発生します。

炎症部分の発生

原因：細菌 / バクテリアの老廃物。不純物の混濁
衛生管理の徹底、殺菌、ライナー交換。

ICEROSSを脱いだあとのかゆみ

原因：ミネラル分（塩分）の蓄積、僅かな汗の残余物。
ライナーを脱いだあと、断端を洗浄する。ライナーのサイズが大きすぎないかを確認する。

擦過傷

原因：

機械的な摩擦（シリコーンの粘着力に肌が負けている。体毛が引っ張られている。）

ライナーをユーザーにお渡しする前に1度だけタルク処理をする。

手順

- 1) タルクをライナーの内側に振りかける。
- 2) 滲出した過度のシリコーンオイルをタルクで吸い取る。
- 3) タルクを水で洗い流す。初期のべとべと感がとれ、すべすべした表面になる。この状態でも十分ICEROSSの性能は発揮されるので、納品前に一度試みる事をお勧めします。また、これにより断端にかかるストレスが緩和されるため、装着初期の過度の発汗対策としても有効です。

デルモ、スタピロなど第2世代ICEROSSはこのような肌の弱い方に最適な、アクティブスキンケア、シルケン加工が施されています。